ROTARY CLUB OF FUJIMI
富士見ロータリークラブ週報

第1954回　例会27年　4月24日（金）
【クラブ協議会】

NO1953
2015－5－8発行

2014～2015年度
国際ロータリー会長　ゲイリーC. K. ホアン
RI会長テーマ“ロータリーに輝きを”
第2570地区　ガバナー坂本元彦
地区テーマ“行動　ACTION”

【会　長】栗原　平
【副会長】下山定夫
【幹　事】柳田政男
【ＳＡＡ】江澤康夫

【点　鐘】　会長　栗原　平会員
【斉　唱】　ロータリーソング「我等の生業」

【会長の時間】　会長　栗原　平会員

今年度活動目標
“輝くロータリーのために、活動しよう”
Ｌｉｇｈｔ　ｕｐ　Ｒｏｔａｒｙ　ａｎｄ　Ａｃｔｉｏｎ！

１）今年度富士見ロータリークラブの会計について（経過、中間報告）

今年度の当クラブ会計は定款、細則に則り役員が管理

１．通帳、印鑑、キャッシュカードは会長が管理

２．小口現金（２０万）は、事務に依頼

小口現金の支払に関しては、担当者が領収書にサインし、会長ないし幹事のサインを受けてから、事務から立替金を領収書と引き替えにもらうことにしたが、有名無実化されている。

しかし、現実には、領収書に支払担当者の印又はサインをもらい、現金は事務から支払われている。

この後で会長、幹事がサインし、小口現金の最終処理は会計が小口現金支払書領収書、通帳と共に、最終処理している

当クラブの財務管理に、役員又は理事の会計担当者が、さらなる関与が必要とおもわれ、改善の余地がある。

３．４０周年記念事業、青少年委員会、親睦委員会の資金に関しては、各担当委員長が管理しています。最終的には会計報告をして頂きます。

２）富士見ロータリークラブ中間会計報告

（４０周年記念事業、青少年委員会、親睦委員会の資金は除く）

楠　会計より報告（資料参照）

【幹事報告】幹事　柳田政男会員

１）例会変更の件

１．当クラブ→

５月　１日（金）→同日　例会取止

５月１５日（金）→

親睦旅行に変更により休会

５月１４日（木）～１５日（金）北陸の旅

５月２２日（金）→　　同上

２）次の書類を回覧します

１．社会奉仕活動報告（第１Ｇ～第５Ｇ）

２．第１回会員増強セミナー

５月１７日（日〕点鐘１３時　紫雲閣

３．高校生社会体験活動＝締め切り　５月末日

対象校と実施期間　ふじみ野高校

１０月２６日〔月）～３０日（金）

３）理事会開催４月２４日１９時当クラブ例会場

出席：理事、プログラム・親睦委員長

【委員長報告】

○会計→楠　邦治委員

各自会員に配布致しました

１月３１日現在

○社会奉仕委員会→委員長　横田昌則会員

１．前回の書き損じはがき回収の金額はまだですが町会７４０４枚、クラブ１０１４枚でした。

２．次年度奉仕部門炉辺会合開催

日時　５月７日〔木）午後７時～

場所　「もいち」ふじみ野駅西口下車

ふじみ野ビル４Ｆ

会費　４０００円

【出席報告】長根章浩会員

会員数　　４８名　　本日出席　２９名
出席免除会員　２２名　出席対象会員　７名
出席率　６７．４％

【ニコニコＢＯＸ】平岡直也会員

長根章浩会員
昨日、第２Ｇ親睦ゴルフコンペがあり、富士見が団体３位になりました。賞金全額ニコニコへに入れさせて頂きます。対象は島田、奥田、荒城会員と長根です。

江澤康夫会員
大坪会員、新しいワイヤレスマイクを用立てて頂きまして誠に有り難うございました。

竹内英明会員
先日、地区研修協議会に出席頂き、有難うございました。

横田昌則会員
先週の例会での書き損じハガキ回収、会員の皆様の協力有難うございました。

尾崎孝好会員
早退、致します。

山城　盛会員
前回、欠席しました。

本日合計￥１３０００．

【クラブ協議会】

○次年度会長

竹内英明会員

本日は**４月１９日に東洋大学川越キャンパス**で２０１５年国際ロータリー・第２５７０地区地区研修・協議会ガ行われました。それについて報告します。

第一本会議では全大会が行われ、午後にはそれぞれの部門に分かれて研修を行い、最後第二本会議として報告、総括をしました

第一本会議の内容と会長部会について私からご報告します。当日は会長部会に私、幹事部会に羽石会員、クラブ奉仕部門に斉藤正司会員、職業奉仕部門に横田昌則会員、社会奉仕部門に奥田会員、国際奉仕部門に島田会員、青少年部門山口会員、ロータリー財団部門に酒本俊司会員、Ｒ米山記念奨学部門に斉藤重治会員、研修部門に深谷会員と１０部門ありました。

本日は幹事と５大奉仕部門について発表させていただきます。なお当日は地区役員として、坂本ガバナーをはじめ深谷地区幹事、桑原会員、荒城会員が出席しました。これからの報告はペッツでの報告も含みます

ＲＩ会長メッセージ　２０１５ー１６年度
Ｋ．Ｒ．“ラビ”ラビンドラン

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のことでもありません。結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。**２０１５－１６年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」**

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずです。私たちは。ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントする事で、誰かの人生、そして世界に，真の変化を起こすことができるはずです。

次に**国際ロータリー第２５７０地区２０１５－１６年度ガバナー　高柳育行　第２５７０地区の運営と方針**

Ｋ．Ｒ．ラビ　ラビンドラン国際ロータリー会長エレクトのテーマを受け、私たちは一人ひとりによる奉仕活動、各クラブによる奉仕活動、あるいは地区による奉仕活動を地域社会で国際社会で推進してまいりましょう。それは人間性豊かな愛のある奉仕活動でなく

てはなりません。“世界へのプレゼントとなるためには自分自身を高めるながら、自分の授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして行かなければならないでしょう。そして世の中の誰かに、地域社会に、あるいは国際社会に感動や変化をもたらすことができたら、私たちも幸せな人生を送ることができると思います。

その為に次年度の地区テーマとして**『ロータリーの心を実践しよう』**を掲げます。どんなに小さな奉仕活動であっても、新たな奉仕活動では新たな出合いが生じます。また新たな出合いが一人ひとりの人生を豊かにしてくれると思います。そのような機会を通じて若い方から学ぶこと、先輩から学ぶこともあるでしょう。その機会を増やしてくれるのはロータリーだと思います。新会員を受け入れ、育成をし、奉仕活動に参加協力いただくことは、その人生においても大きな価値を生んでくれるだけでなく、私たちの人生も豊かなものにしてくれます。

地区運営にあたり下記の３項目を念頭に取り組んでまいります。

１．ＲＩの掲げる戦略計画に沿って、活力あるクラブとなるよう支援に努めます。
２．謙虚で誠実、思いやりのある心で実践に努めます。
３．適切な地区運営と財務管理に努めます。

今年度は創立４０周年事業や初の坂本ガバナー就任に伴い地区大会運営など、これまで富士見ロータリークラブが経験しえなかった事を経験することが出来、忙しくも大変有意義な年度だと思います。これら活動の中では全会員が力を出し合い、助けあい、時にはぶつかり合いながら、これら大事業を成功へ導くことができました。富士見ロータリークラブが創立４０周年を迎える事が出来たのは、会員相互の努力と結束力の賜物とこれまで諸先輩方が培ってくれた伝統があったからこそと考えます。

さあ、次年度は４１年目です。富士見ロータリークラブが４５周年、５０周年に向かって歩んでいくリスタートの年になります。この４０年続いて受け継いできた伝統を大事にしながら、全会員が新たなスタート台に立って、会員一人一人が相互理解と親睦を深めながら成長し、新たな富士見ロータリークラブを創造していけるような４１年目にしたいと思います。

リスタートの富士見ロータリークラブをみんなで楽しみましょう。皆さんのご協力をお願いして次年度の方針とします。

〇次年度幹事　羽石　隆会員

本会会議　点鐘１０時
会議終了　１１時３０分
午後　１時

部門別研修会　幹事部会

出席者全員の自己紹介
ありました。その中で入会２年から５年位の方が幹事をやられる方が多いようでした。会長経験者も何人かおられました。私と同じ入会１８年目の方も何人かいました。また、今年８８才になりますが入会して、２、３年との方もおりました。

１、地区幹事　　本庄　　茂木幹事
マイ　ロータリー　アカウント登録方法の説明
手続を６月にしてください
２、前々回幹事の　所沢　高橋氏の説明
ある時期のガバナーにおいては違った方向の時代がありまして？との話があり
幹事の役目は　情報と伝達
１．地区の情報を　会員に伝達
２．クラブの情報を　会長に伝達
３．ロータリーのアカウント登録
４．幹事　事務局が一体になって地区へ
５．地区の幹事とクラブの幹事が連携して情報を共有が大事である
３、秩父の宮前洋一氏
１、幹事の役目は国でゆう官房長官みたいなもの会長より前に出るな（１部では会長がみんなやってしまって出る幕がないところもある）
２、クラブ細則は、見直すことも必要である
簡単な研修のため結構早く終わりました。
その後、本会議に各委員会の集計の発表で終了

〇クラブ運営委員長→斉藤正司会員

ロータリーの３つの戦略的優先項目。

その下に１６の目標を定めている。将来も強く活気ある組織であり続ける為に私たちはこれらを優先項目と目標を指針としています。

クラブのサポートと強化

・クラブの刷新制と柔軟性を育てる
・さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
・会員基盤の多様性を奨励する
・会員の勧誘と維持を改善する
・リーダーを育成する
・ダイナミックな新クラブを結成する
・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励

人道的奉仕の重点化と増加

・ポリオを撲滅する
・青少年や若きリーダーの支援、及びロータリーの６つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める
・他団体との協力やつながりを深める
・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを生み出す

公共イメージと認知度の向上

・イメージとブランド認知を調和させる
・行動と主体とした奉仕を推進する
・中核的価値観を推進する
・職業奉仕を強調する
・ネットワークづくりの機会、並びにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励

使命

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダのネットワークを通じて、人々に奉仕し高潔を奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

中核的価値観

私たちの価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素です。

親睦と国際理解（フェローシップとグローバルアンダースタンディング）

〇職業奉仕委員長→横田昌則会員

高柳育行ガバナーエレクトの職業奉仕に関する方針は、職業倫理を高めるとともに、職業奉仕について理解を深めるよう努めるということです。

また部門別研修会の中では、地区の活動方針と実施計画が発表されました。

『活動方針』

職業奉仕は、クラブ定款に「あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく」とあります。本年度も、ロータリーが職業奉仕について表明していることをクラブに伝え、「奉仕の理念」の考えをともに理解しクラブの「奉仕プロジェクト」として、ＲＩの「職業奉仕の新方針」に基づく職業奉仕活動の実践に役立つよう、地区の活動を行います。

『実施計画』

１．職業奉仕理念の研鑽

職業奉仕には「奉仕の理念」を理解する必要があり、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」「超我の奉仕」の二つのモットーと「他人のことを思い遣り、他人のために尽くす」という解釈があり、それを研鑽しクラブに伝える。

２．「職業奉仕の新方針」の実践

職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である、と「職業奉仕の新方針」に示されており、これに対する理解を深め、クラブの奉仕プロジェクトでの実践を図ります。

３．「ロータリーの行動規範」の普及

ロータリアンとして、私は以下のように行動するとの「行動規範」が８項目で創設され、さらに2014年1月の5項目に修正されました。

４．「四つのテスト」の普及
５．職業奉仕セミナーの開催
６．出前セミナーの開催

1月の職業奉仕月間の前に、グループごとに原則各クラブ1名ずつでの懇談会を開き、精通者を交え自由な意見交換や質問により職業奉仕に対する認識を高めてもらい、クラブでの実践に結び付くよう図ります。

〇社会奉仕委員長→

奥田功次会員　　（会長代読）

当地区社会奉仕部門は「地域社会奉仕委員会」「アイバンク委員会」「世界遺産登録委員会」「ブライダル　委員会」以上の４委員会で、構成されています。

「ブライダル委員会」は、会員に関係する婚活希望者の登録を得て、事業の性質上直轄事業としており、「アイバンク委員会」「世界遺産登録推進委員会」として世界遺産を啓蒙宣伝する活動を行っています。

「地域社会奉仕委員会」は委員会名称通り、地区の部門として間接的に各クラブに対し、社会奉仕活動を推奨指導することを第一の目的としまして、各クラブの奉仕活動報告を毎年求めて、データベースを構築し、ＷＥＢ上で公開し、２５７０地区のＨＰから地区内他クラブの活動状況を知り、継続事業に囚われることなく新たな奉仕活動を展開下さるよう、奨励します

２５７０地区ＨＰに掲載されている２８クラブの内３クラブの掲載記事を回覧してもらいます。

〇国際奉仕委員長→島田敏郎会員

現状、世界の人口は７２億５千万人を超えて、毎日２０万人づつ増えて続けている。

トイレが無い人が地球上で、約４０％の２６億人以上いる。読み書きが出来ない人が７億７千６百万人いる。この様な情況を踏まえて各委員会で活動を行う。

・国際支援委員会

支援プロジェクト
ミヤンマー（文房具）　タイ（浄水器）
フィリピン（浄水器）　ネパール（学校建設）
インド（簡易トイレ）

・国際交流委員会

日豪青年交流が４０周年を迎え、ロータリアンが多く参加出来るようなプログラムを実施する。

【点鐘】会長　栗原　平会員

例会日　毎週金曜日
時　間　12:30～13:30
事務所　〒354－0022
富士見市山室2－10－10　島田ビル201号
電　話　049－251－6596　FAX049－252－3848
例会場　島田ビル1F
Eメール　fujimi-rc@nifty.ocm

会報･IT委員会
委員長:萩原喜八郎　副委員長:長根章浩
委員:森田仁一　平岡直也　尾崎孝好
松本伸一郎　吉原孝好　浅見隆広
本日の週報担当:萩原喜八郎